

駐在員だより 「マイヤーガーデン滋賀特別展が終了しました」

ミシガン州には、誰もが知っている有名なスーパーがあります。「マイヤー」(Meijer) という名のスーパーで、ミシガン州を中心に、200 を超える店舗を展開しています。

この「マイヤー」の創始者フレデリック・マイヤー氏(2011年逝去)は、1994年、彫刻と植物をあわせて展示する庭園「フレデリック・マイヤー・ガーデンズ・アンド・スカルプチャー・パーク」(Frederik Meijer Gardens & Sculpture Park)(以下「マイヤーガーデン」といいます。)をミシガン州グランドラピッズ市に造りました。彼が彫刻のファンで、妻、レナ・マイヤーさんは植物が好きだということで、二人が好きなものを一緒に楽しめる庭園を造りたいという思いからできたものです。

このマイヤーガーデンで、平成27年(2015年)1月30日から8月16日まで、「Splendors of Shiga」 「珠玉の美」という滋賀県の文化財の特別展示が行われていました。この展示会では、滋賀県の掛け軸、近江八景を描いた屏風、信楽焼き等を展示されていました。

この展示と合わせて、今年6月、マイヤーガーデンに北アメリカ最大級の日本庭園がオープンしました。広さは約34,000㎡。「心」字をかたどった池、滝、盆栽ガーデン、禅ガーデン、そしてお茶室を備えた日本庭園です。マイヤーガーデンは彫刻が有名ですし、日本庭園内には彫刻も展示されています。全体的な景観のみならず、細部に至るまで、その仕上がりは芸術的でした。

マイヤーガーデン日本庭園は、2011年春にその構想がスタートし、広島県出身の世界的な造園家、栗栖室一氏の手によって、4年の歳月をかけて完成しました。

一般公開に先立ち、6月10日に開園式典が開催され、スナイダー・ミシガン州知事や佐々江賢一朗駐米特命全権大使など全米から約600人が参加されました。

この式典では、三日月知事が、滋賀・ミシガンの友好交流のさらなる発展等についてスピーチを行い、滋賀の日本酒「七本槍」を用いた鏡開きを行うとともに、比叡山延暦寺第256世天台座主半田孝淳氏揮毫の掛け軸を贈呈しました。

マイヤーガーデン自身はオープンから20年以上が経過しています。2014年の入場者数は654,167人で世界の美術館の入場者数ランキングでは91位でした。



マイヤーガーデン 日本庭園

非常に多くの方が訪問する、マイヤーガーデンで実施された滋賀特別展の開会期間中の訪問者は 386,555 人でした。

この滋賀特別展を主導して下さったマイヤーガーデン副園長、ジョセフ・ベックラー氏は、「滋賀特別展は信じられないくらいに成功した。私の想像以上だった。本当に多くのアメリカ人に滋賀の美しさと芸術を知ってもらうことが出来た。」とコメントしてくれました。一方で、滋賀県に行って、その美しさに感銘を受けた、自分は滋賀県の大ファンだと言ってくださるベックラー氏は「終わってしまうのが非常に寂しい」とも話していました。



マイヤーガーデン ギャラリー

滋賀県の美術館関係者の方々も「このような素晴らしい展示が終了するのは寂しい限り。」「たくさんの方に滋賀県の文化財を通じて、滋賀県を、日本を知ってもらったことが良かった。」「マイヤーガーデンには本当にご尽力いただいた。深く感謝している。」「こうした関係が継続できれば素晴らしいと思う。」といった話をされていました。

滋賀特別展の最終日 8 月 16 日には、レナ・マイヤー夫人がマイヤーガーデンを訪問されていました。私もマイヤーガーデンを訪問しており、ご挨拶をさせていただきました。握手は本当に力強く、とても 90 歳を超えておられるとは思えませんでした。

滋賀特別展の後、マイヤーガーデンでは、平成 27 年(2015 年)9 月 18 日~平成 28 年(2016 年) 1 月 3 日、滋賀県立信楽陶芸の森とのコラボレーション事業「日本の陶芸の今ー伝統と革新」(Tradition and Innovation : Japanese Ceramics Now) が開催されます。滋賀特別展に引き続いて、信楽陶芸の森との事業で、まだまだ滋賀県との関係は続いていきます。